

## 熊楠の貝類コレクション

今回の展示に際し、西宮市貝類館では、熊楠の蒐集した標本を整理し、分類順のリストを作成しました。

標本の内容としては、海産貝類は 364 種類あり、和歌山県産を推測される、タカラガイ科、アッキガイ科、イモガイ科、タケノコガイ科、マルスタレガイ科、ニッコウガイ科などの、比較的採集の容易な大型～中型種が多く見られました。中には、ヨウラクガイやセンジュガイモドキなど、エビ網漁などで掛かって来るようなやや深場に棲息する巻貝なども含まれています。

マルスタレガイ科やニッコウガイ科の二枚貝の多くは、当時、白砂青松であった田辺市扇ヶ浜を中心とした田辺湾で採集された標本と想像できます。

陸産貝類は 20 種類と少ないですが、ナチマイマイやミツクリギセルなど、今も希少な和歌山県産の標本が含まれています。淡水産貝類は 14 種類でマルタニシやマシジミなどが見られます。

また、外国産の貝類は、主にダイバーから譲り受けたとされる、アラフラ海のシロチョウガイやオーストラリア産のベッコウダカラなどがあり、また、真珠の核として使用されていたアメリカ、ミシシッピー川のマツカサカワボタンガイや、フロリダに生息するオオタワラガイ類などが含まれていました。

これら、貝類コレクションの総数は、398 種類 2,077 点を数え、当時の個人による収集品としては、種類や数量が多いことから、熊楠は長年にわたって貝類を集めていたことが判ります。

### 南方熊楠貝類標本の内訳

腹足類(巻貝)	253 種(内、16 亜種)	1,337 個体	
斧足類(二枚貝)	140 種(内、2 亜種)	393 個体	+ 299 片
多板類・掘足類・頭足類	5 種	48 個体	
上記、内 海産貝類	364 種(内、17 亜種)	1,691 個体	+ 288 片
陸産貝類	20 種	59 個体	
淡水産貝類	14 種(内、1 亜種)	28 個体	+ 11 片
南方熊楠貝類標本 合計	398 種(内、18 亜種)	1,778 個体	+ 299 片 <u>2,077 点</u>



引用資料 南方熊楠記念館(白浜町)ホームページ記載の説明文  
同館「南方熊楠翁の貝類コレクション展」に際し作成の解説パネル  
写真資料提供 南方熊楠顕彰館(田辺市) 肖像写真 ・ 南方熊楠記念館(白浜町) 肖像写真以外

### 関連事業 貝類館セミナー

開催日 2018年10月27日(土)

場所 西宮浜公民館 2階 講堂

参加費 不要 申込 不要

タイトル 「南方熊楠」展によせて

講演時間 13:30～14:00

講師 西宮市貝類館 学芸員 高田良二

タイトル 南方熊楠と貝類標本

講演時間 14:00～15:00

講師 日本貝類学会 名誉会員 湊 宏

西宮市貝類館 第20回特別展  
南方熊楠貝類コレクション展  
—南海の偉人 熊楠と貝との出逢い—  
発行日 2018(平成30)年10月  
発行所 西宮市貝類館 〒662-0934 西宮市西宮浜 4-13-4  
Tel. 0798-33-4888 Fax. 0798-33-5885  
編集 西宮市貝類館  
執筆 高田良二  
印刷所 有限会社 都印刷

